

報告事項 1

第2回 少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議について

第2回 少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議について、以下のとおり報告する。

令和2年2月10日提出

「第2回少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議」について

1. 開催趣旨

平成31年4月19日に、兵庫県私立中学高等学校連合会より、将来の人口減少を見据えた神戸市との連携に関する要望を市長が受けたことに伴い、今後も次世代を担う人材を育成していくため、「少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議」を開催し、公私連携した取り組みの必要性などについて幅広く検討する。
(所管：企画調整局企画課)

2. 委員（敬称略）

摺河 祐彦（兵庫県私立中学高等学校連合会理事長）

森地 高文（神戸商工会議所副会頭）

山中 伸一（学校法人角川ドワンゴ学園理事長／元文部科学事務次官）

和田 孫博（神戸市私立学校協会会長）

3. 第2回会議開催要旨

（1）日 時 令和2年2月3日（月）16：00～17：00

（2）議 事 提言（案）についての主な意見

【論 点】

①生徒数の減少を見据えた市内の高等学校のあり方

- ・学校の適正規模
- ・学校の配置
- ・公私協調の取り組み

②次世代人材育成に向けた高等学校教育の推進

- ・今後の高等学校教育に求められるもの
- ・次世代教育を担う教員人材の育成

③市立高等学校の役割

- ・神戸らしい特色ある教育の実践
- ・地域の産業を担う人材の育成
- ・市立高等学校全体でのマネジメント機能の向上

④神戸市内の高校生に対する多様な教育機会の創出

- ・自治体の主体的な取り組み

4. 今後の予定

令和2年2月下旬頃に有識者会議から市長に対して提言書を提出予定